

テーマ「令和の日本にも結核はあります」

県では、県民の「健康寿命の延伸」及び「健康格差の縮小」を目指し、健康づくりに関する取組を推進しています。健康コラムでは、健康に関する正しい情報と新しい情報を発信し、県民の皆様の健康でいきいきした毎日を応援していきます。

「結核」は過去の病気だと思いませんか？

実はそうではありません。日本では毎年約10,000人が新たに結核を発症し、毎年1,400人以上が結核で亡くなっています。結核の予防と早期発見・早期治療のために、結核のことを正しく知っておきましょう。

【参考】第四次和歌山県健康増進計画における数値目標

	2022年（現状）		2035年（目標）	
健康寿命の延伸	男性	72.39年	男性	75年
	女性	75.33年	女性	78年
特定健康診査実施率（40～74歳）		48.9%		70%以上
食塩摂取量（20歳以上）		9.5g		7g
野菜摂取量（20歳以上）		252.3g		350g
一日の歩数の平均 （20～64歳）	男性	7,690歩		8,000歩
	女性	6,771歩		
喫煙率の減少	男性	23.7%	男性	18.9%
	女性	6.4%	女性	3.5%

県民の健康づくりを
推進しています！

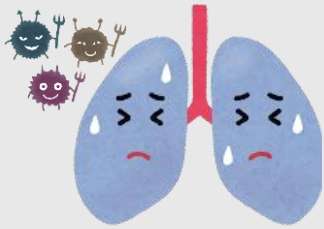


健康わかやま県民運動

結核とは

結核とは

結核菌による感染症です。肺に発症する「肺結核」が代表的ですが、リンパ節、腎臓、骨、脳などにも発症します。



感染のしくみ

肺結核を発病した人のせきやくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことで感染します。



「感染」と「発病」は違います

感染：結核菌が体内に入った状態。
無症状で他人にうつりません。

発病：結核菌が体内で増え、症状が出た状態。肺結核では、周囲に感染する可能性があります。

知っておきたいポイント

- 握手、衣類への接触、食器の共有だけで感染するものではない
- 換気の悪い場所で、発病者と長時間・近距離で過ごすほど感染リスクが高くなる
- 結核は誰でもかかる可能性がある
- 早期発見と適切な治療が大切



主な症状

- せき、たんが2週間以上続く
- 微熱、発熱、寝汗
- 体重が減る、食欲が落ちる
- 血の混じったたん、胸の痛み、息苦しさ
- 疲れやすい、体がだるい



※高齢者では、せきなどの呼吸器症状が目立たず、食欲低下や体重減少、元気がないといった変化だけの場合があります。

予防・早期発見

- 2週間以上続くせきやたんがある場合は、早めに医療機関へ
- 年1回の定期健康診断などで胸部エックス線検査を受ける
- 室内では換気、せきエチケット、手洗いを心がける
- 乳児はBCG接種について、自治体の案内を確認する



**2週間以上続くせきは、結核に限らず、
早めに医療機関へ相談しましょう。**



結核の現況

和歌山県の状況（2025年）

◆結核患者数

- ・新登録結核患者数…56人（全国 9,899人）
- ・罹患率※…6.5（全国 8.0）

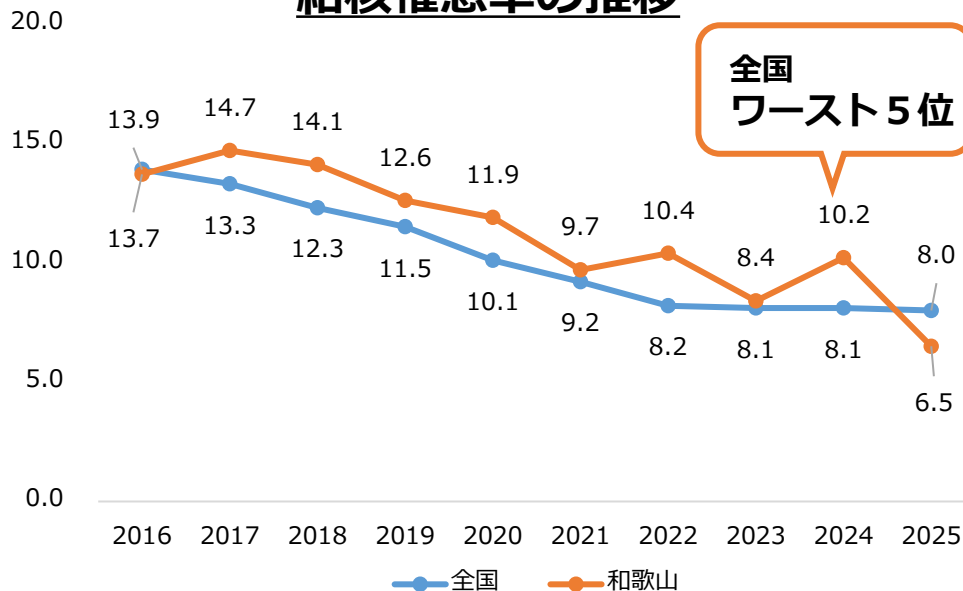
◆結核による死亡数(概数)

- ・死亡数…13人（全国 1,474人）
- ・死亡率※…1.5人（全国 1.2人）

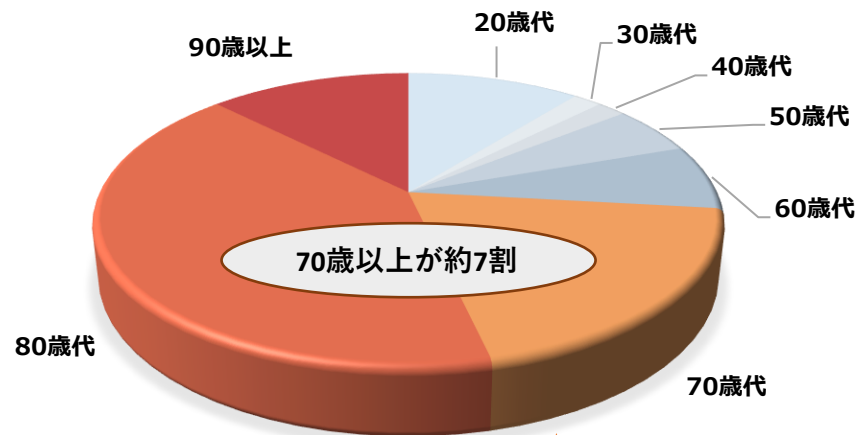
※罹患率…人口10万人あたりの新たに結核と診断された人の数
※死亡率…人口10万人あたりの結核が原因で死亡された人の数



結核罹患率の推移



和歌山県の結核登録者年齢割合（2025年）



高齢者の結核患者が
全国と比べて多い



和歌山県では 「拠点型結核相談支援センター」を設置しています

(国立病院機構和歌山病院内:和歌山県美浜町和田 1 1 3 8)

相談受付日 月～金（土・日・祝日・年末年始〔12月29日～1月3日〕を除く）
受付時間 午後1時から午後4時まで
相談料金 無料
連絡先 電話番号：0738-32-7033 、FAX：0738-32-7034
メール：419-tbshien@mail.hosp.go.jp



どんな相談ができるの？

【一般の方・ご家族向け】

- ・身体がだるく、咳が2週間くらい続いている。風邪と言われたが、なかなか治らない。
- ・家族が「結核」と診断された。治療のことについて知りたい。

【医療機関・高齢者施設等向け】

- ・患者さんの服薬手帳の記載方法、高齢者施設での対応について相談したい。

